

CO₂削減マニフェスト(取組内容)

大項目	小項目	具体的取組	2030年度までの数値目標
事業所の 省エネ	エネルギー管理体制	自主保全教育を行い、設備効率を上げるように指導	
		各種設備・機器の性能及び効率低下を防止するため定期的に保守及び点検を行う。	
	空調・換気	スポットクーラーから冷風扇へ移行	
		空調機器の温度設定、運転時間を適切に管理する。残業時間を極小化し、運転時間の短縮に努める。	目安:夏季:28℃ 冬季:19℃
	ボイラー・給湯	塗料自動投入装置の設置済	
		ボイラーの空気比、蒸気圧力、温度を適切に設定する。	
	照明・昇降機	事務所・工場(照明)LED化とともに、常時点灯不要箇所は、人感センサー導入を検討削減に努める。	
		工場内(証明)LED化	全箇所目標
	事務用機器・ 業務用機器・ 産業用機器	OA機器の電源遮断による、待機電力の削減	
		インバーター式コンプレッサー導入	
再生可能エネルギー・ コージェネレーションシステム・ 建物の断熱等・BEMS	事務所等窓ガラスの面積の大きいところに熱遮断フィルムを貼るなど遮熱を図り空調効率を高める。	事務所内窓ガラス	
	太陽光発電システム導入済		
自動車	社用車を電気自動車に変更		
	社員にエコドライブによる燃料費節減を働きかける		
低炭素な 製品 ・ サービス	購入	CO2排出量の少ない商品・サービスの購入に努める	
	製造・販売・提供	製造工程の改善等により、廃棄物の削減に努める	
運送・廃棄	産廃の監視により、不燃と可燃の差別化の徹底		
	リサイクル品の推進		
従業員教育 ・ 社会貢献	従業員への啓発	ISO14001を取得済。従業員に対して環境側面の指導実施。	
社会貢献	工場周辺の清掃活動		
	交通安全啓発活動実施	毎月交通安全立哨実施	
その他		印刷ミス、いらぬ用紙を裏紙として使用	